

農地・水・環境保全向上対策の 実施に向けて

あなたの集落は大丈夫？

○ いま、全国の集落で高齢化や混住化が進行して、農地や農業用水などの資源を守る「まとまり」が弱まっています。

○ 集落の機能を守っていくためには、今まで以上の取組が欠かせなくなります。

「環境にやさしい農業」行っていますか？

○ 国民の環境への関心が高まる中で、環境を重視した農業生産への取組が求められています。



対策の取組み



対策のねらい

- 質の高い農地の確保（耕作放棄の防止、水利施設の長寿命化など）
- 安全・安心な食料生産（消費者からの支持）
- 美しいむらづくり（良好な景観形成や生態系保全など多面的機能の発揮）
- 都市とのネットワークの拡大（都市住民の理解と参加）
- 農村・農産物のブランド化（消費の多様化・拡大）

東海農政局 愛知県名古屋市中区三の丸一丁目2番2号

農地整備課（電話）052-201-7271（内2659）

（FAX）052-219-2667

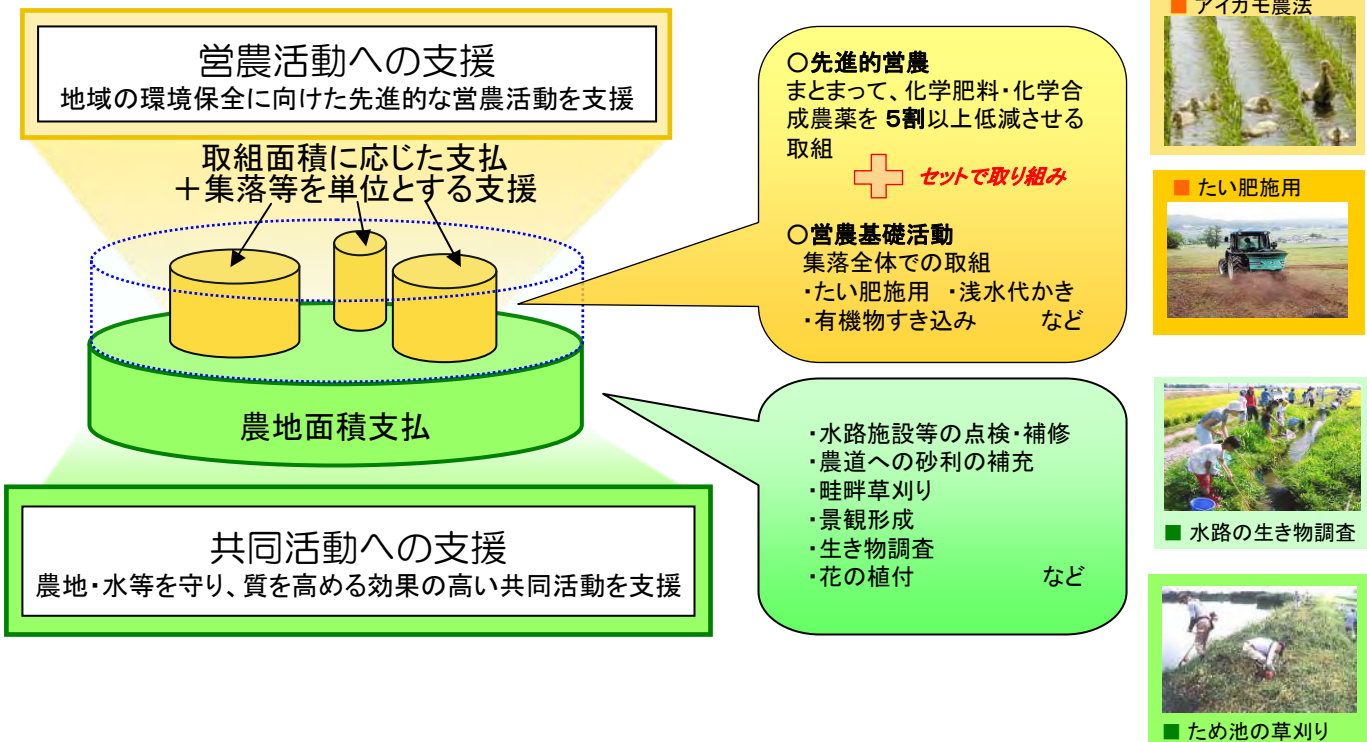


平成19年8月

(1) 支援のしくみ

○ 地域ぐるみでの農地や水を守る効果の高い共同活動と、環境保全に向けた営農活動を支援します。

施策の概要

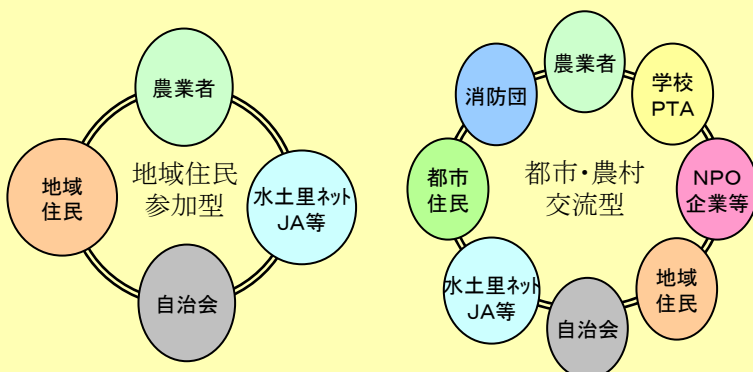


(2) 支援をうけるには

①まず、農業者以外の者(組織)を含めた活動組織を作りましょう。

活動組織設立と規約の作成

活動組織の構成例



(水土里ネットとは、土地改良区の変称です。)

○ 共同活動を行う地域や組織は、多様な主体が参画する活動が効果的に実施できるよう、集落や水系単位など地域の実情に応じ適切に設定します。

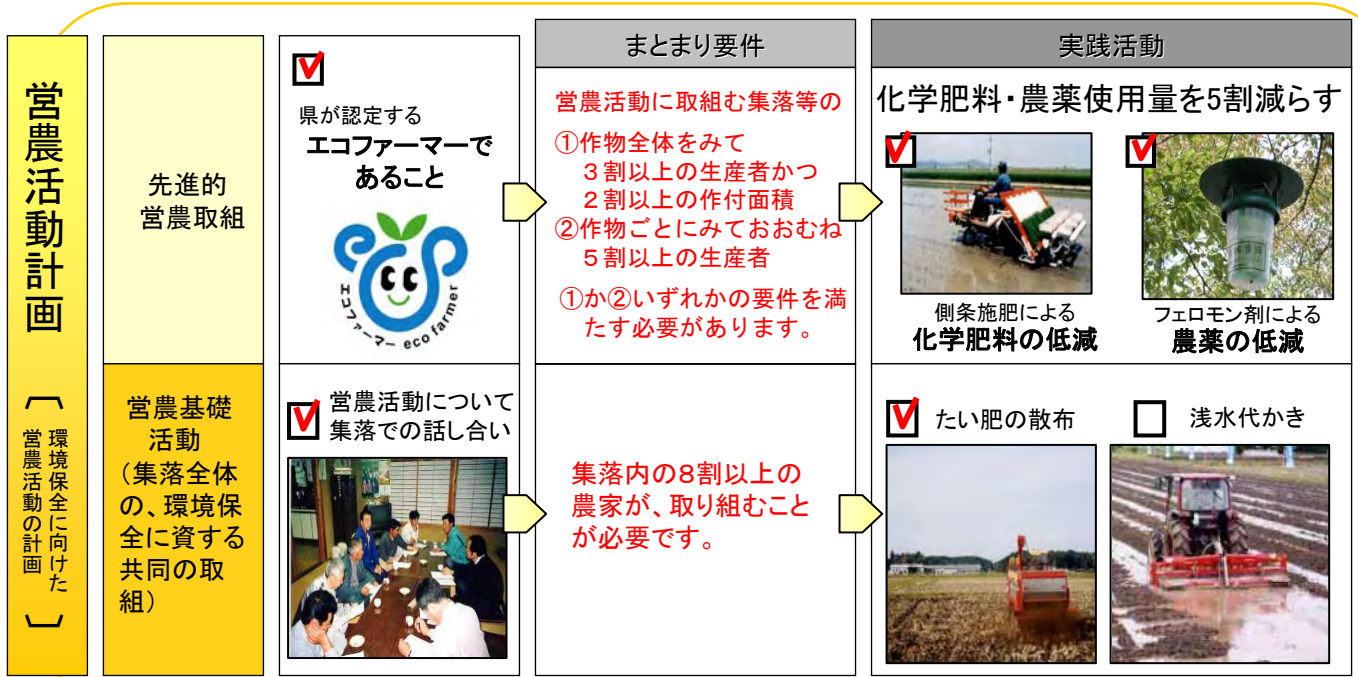
○ 営農活動は、共同活動を行う地域や組織の中で、先進的農業者を中心として、集落等の営農実態に応じて取り組みます。

②集落の資源・環境を守る活動計画を作しましょう。

支援を受けるためには要件(赤字)を満たす必要があります。

活動計画の作成

活動計画の例



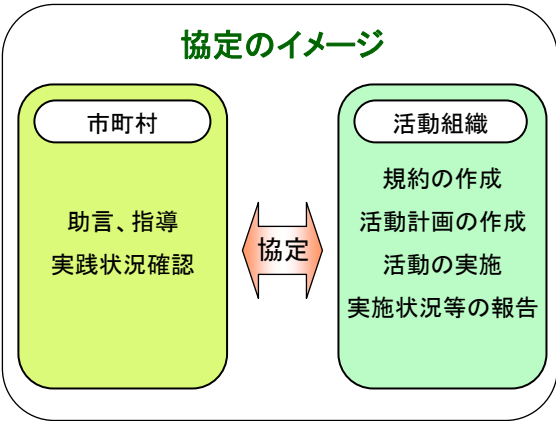
地域での共同活動を実施した上で、さらに集落等で営農活動に取り組む場合は、共同活動計画に併せて営農活動計画を作しましょう。



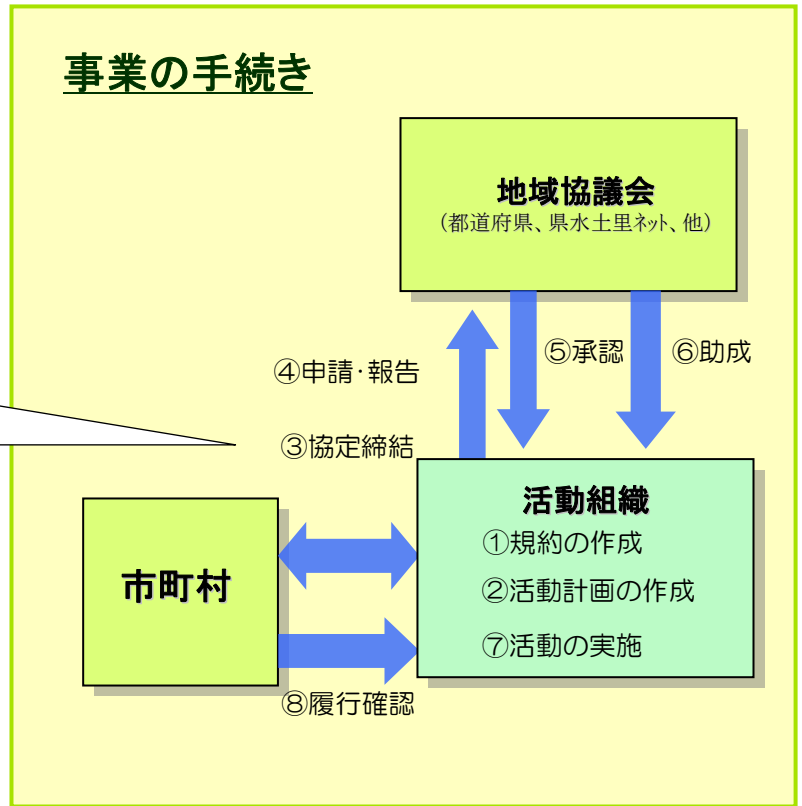
③市町村と活動内容等について協定を結び、支援を受ける手続きを経て、共同活動や営農活動を実施しましょう。

協定締結等の事業手続き

協定のイメージ



事業の手続き



(参考)国による支援の水準 (都府県)

共同活動支援

基礎支援	支援額
水田	2,200円/10a
畑	1,400円/10a
草地	200円/10a
ステップアップ活動支援	10万円か20万円/1地区

営農活動支援

先進的営農支援	支援額
水稲	3,000円/10a
麦・豆類	1,500円/10a
いも・根菜類	3,000円/10a
葉茎菜類	5,000円/10a
果菜類・果実的野菜	9,000円/10a
施設栽培 (トマト、なす、きゅうり、ピーマン、いちご)	20,000円/10a
果樹・茶	6,000円/10a
花き	5,000円/10a
その他作物	1,500円/10a
営農基礎活動支援	10万円/1地区

